

2006年度 PSC 事業報告

特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター(PSC)

<事業期間>

2006年4月1日～2007年3月31日

<2006年度事業の概要>

1. 事業概要

2006年度は、新規の自主事業として、(財)中部産業活性化センター(CIAC)との協働による「協働アイデアコンテスト」等を実施し、多くの関心を集めた。また、愛知県との協働による「地域協働促進事業」は、NPOと行政の協働を促進する目的で市町の職員研修を行うという初の試みで、多くの成果を挙げることができた。このほか新規事業として、文部科学省の「地域ボランティア活動推進事業」、地球環境基金の「企業の環境活動への取り組みに関する調査分析」などを、また継続事業としては「第4回パートナーシップ大賞」をはじめ、県民ボランティア活動促進、福祉のまちづくりリーダー養成ほか「企業からNPOへ」の流れを作り出す複数の事業に取り組んだ。なお、2006年度からウィルあいちの指定管理者の一員になり、またなごや環境大学から事務局次長の委託などを受けることになった。

2. 成果と課題

1) パートナーシップ大賞と協働アイデアコンテスト

「第4回パートナーシップ大賞」は、さわやか福祉財団との共催により堀田力理事長も参加して大いに盛り上がり、関心も一段と高まった。これを支える新たな事業として、新しくPSC会員となった(財)中部産業活性化センターとの協働で「協働アイデアコンテスト」を実現させ、この地域におけるNPOと企業の協働推進のきっかけづくりに貢献した。

2) 「企業人から地域人へ」「企業からNPOへ」の流れの創出～3事業による成果

文部科学省(2事業)と長寿社会開発センターの計3つの事業による「企業人から地域人へ」「企業からNPOへ」という流れ創出の事業は、企業人のボランティア講座やNPOの受け入れ講座等を実際に行い、企業からNPOへのインターンシップの手引書づくりによって、次へのインターンシップの実践ステップにつなげようというもので、それぞれが独立した事業でありながら、全体としてPSCらしい方向性を示す事業となった。

3) NPOの観点からCSRの推進

「第3回パートナーシップ大賞」(2005年実施)の事例と併せて、企業が発行したCSR報告書等の分析をNPOの観点から行い、「企業とNPOのパートナーシップ CSR報告書100社分析」(同文館出版)として2006年6月に出版した。CSRやNPOに関する企業、行政等からの問い合わせや講演等も増加し、企業のCSR推進のなかにNPOの役割や機能をしっかり位置づけるよう取り組んだ。また、NPOの観点からのCSR推進に行政が果たすべき役割についても積極的に提案した。

4) 地域協働研修の成果

「地域協働促進事業」(愛知県)は、市町村がNPOとの協働を推進するために職員対象に研修を行うことを目的とし、20カ所で3つの中間支援団体が取り組んだが、そのうちPSCは市町からの要請で8カ所(9市町)を担当し、特に「市民参加の政策づくり」という新しいテーマに積極的に取り組み、職員や一部研修に参加したNPOにも方向性を示すことができた。

5) 今後の課題

一方、課題として残ったのは、ウィルあいちの指定管理者としての役割の未消化および失業者向け「コミュニティビジネス科」講座が実施にいたらなかった点である。いずれも相手のあることで思い通りに進めることができず、次年度へ持ち越すことになった。

I. センターの主な活動

1. 「パートナーシップ大賞」事業

NPO と企業の協働を推進する「パートナーシップ大賞」は今年で 4 回目を迎え、多くの参加者に感動を与える先進的な事業として定着してきた。さわやか福祉財団の共催(2 回目)のもと、第 4 回発表・贈呈式を、名古屋国際センターで実施。堀田力さわやか福祉財団理事長が表彰状授与を行った。

1) 第 4 回パートナーシップ大賞

① 募集

● 募集期間：5 月 25 日(日)～8 月 25 日(金)

ポスター、チラシを全国ボランティア・NPO 支援センター等へ配布
全国各団体メーリングリストでの案内

● 応募事業(19 件)：

- ・ハートフル協働事業の企画運営(兵庫県)
- ・なまら便利なバスマップ増刷版製作事業(北海道)
- ・市民コミュニティ太陽光発電所設置事業(北海道)
- ・地域住民による情報発信「市民メディア」(栃木県)
- ・杉並チャリティ・ウォーク(東京都)
- ・きょうと市民活動応援提携融資制度(京都府)
- ・高校生のための国際科学コンテスト日本代表の支援活動(愛知県)
- ・病児保育で働く親を支援：こどもレスキューネット事業(東京都)
- ・毎土 NPO です！(大阪府)
- ・ガンバレ！介助犬！JA 共済はたらくワンワンランド(東京都)
- ・食育プログラム「食のガーデン」(東京都)
- ・湘南から世界へ ～サッカーボール寄贈事業～(東京都)
- ・ハーブガーデン・チャリティプロジェクト(東京都)
- ・パキスタン地震被災者に対する冬物衣料支援事業(東京都)
- ・コミュニティ放送事業(京都府)
- ・ふなばし F ブランド“資源循環プロジェクト”(千葉県)
- ・ひと・もの・地域・夢をつなぐ地元商店との協働事業(福井県)
- ・企業ができることもたちへの環境学習支援(兵庫県)
- ・ニート・ひきこもりを始めとする若者の自立就労支援「ワーキングスクール事業」(栃木県)

② P 賞(& CSR)運営委員会

パートナーシップ大賞事業を進めていくための準備を中心に、運営委員会を 4 回実施した。

● 第 1 回運営委員会

実施日：5 月 21 日(日)池下ピアザ

内容：事業進行計画(募集要項・チラシ・応募用紙の検討、今年度スケジュールについて)

参加者：12 名

● 第 2 回運営委員会

実施日：7 月 2 日(日)池下ピアザ

内容：進捗状況の報告(広報について、パンフレット配布先等)、調査・審査方向性の検討、第 4 回以降の開催についての検討。

参加者：9名

●第3回運営委員会

実施日：9月2日(土)池下ピアザ

内容：調査委員会(応募書類の予備審査)

参加者：11名

●第4回運営委員会

実施日：10月28日(土)池下ピアザ

内容：現地調査にもとづき、調査委員による報告及びレベル合わせと評価の実施。

参加者：11名

※ 運営委員：面高俊文氏、河井孝仁氏、杉田教夫氏、高浦康有氏、小室達章氏、横山恵子氏、持田訓子氏、山田尚美氏、竹谷 隆氏、岸田眞代、水野真由美、野田敏行、松本美千代、宮下太陽、石井 功

③第1次審査委員会

●実施日：9月3日(日)、池下ピアザ

●内容：応募総数19の協働事業から、調査委員会および審査委員会の審議を経て、取材調査10事業を選考した。

●参加者：審査委員5名(長谷川公彦氏、原田勝広氏、藤井絢子氏、竹谷隆氏、岸田眞代)
調査委員10名(面高俊文氏、河井孝仁氏、杉田教夫氏、高浦康有氏、小室達章氏、横山恵子氏、持田訓子氏、山田尚美氏、水野真由美、宮下太陽)

●調査事業と調査場所：

- ・企業ができることも達への環境学習支援(兵庫県)
- ・病児保育で働く親を支援：こどもレスキューネット事業(東京都)
- ・湘南から世界へ～サッカーボール寄贈事業～(神奈川県)
- ・きょうと市民活動応援提携融資制度(京都府)
- ・なまら便利なバスマップ製作事業(北海道)
- ・コミュニティ放送事業(京都府)
- ・ニート・ひきこもりを始めとする若者の自立就労支援「ワーキングスクール事業」(栃木県)
- ・パキスタン地震被災者に対する冬物衣料支援事業(東京都)
- ・食育プログラム「食のガーデン」事業(東京都)
- ・ひと・もの・地域・夢をつなぐ地元商店との協働事業(福井県)

④現地ヒアリング調査

●実施日：9月4日(月)～10月28日(土)

上記調査員10名が、各事業2名ずつ現地にて、NPO及び企業担当者からそれぞれヒアリング。それらをつき合わせ、各事業ごとに調査票にまとめた。

⑤第2次審査委員会

●実施日：10月29日(日)池下ピアザ

●内容：調査員の現地取材調査にもとづき、調査委員会および審査委員会を実施。最終プレゼンテーションを行う6事業を選出した。

- ・なまら便利なバスマップ製作事業(北海道)
- ・きょうと市民活動応援提携融資制度事業(京都府)
- ・若者の自律就労支援ワーキングスクール事業(栃木県)
- ・パキスタン地震被災者に対する冬物衣料支援事業(東京都)
- ・食育プログラム「食のガーデン」事業(東京都)

・企業ができることも達への環境学習支援(兵庫県)

- 参加者：審査委員 6 名(長谷川公彦氏、原田勝広氏、藤井絢子氏、馬塚丈司氏、竹谷隆氏、岸田眞代)
調査委員 8 名(面高俊文氏、河井孝仁氏、高浦康有氏、横山恵子氏、持田訓子氏、山田尚美氏、
水野真由美、宮下太陽)

⑥最終選考および大賞発表と贈呈式

- 実施日：11 月 11 日(土)13：30～、名古屋国際センタービル 別棟ホール
- 内容：6 事業の最終プレゼンにより「パートナーシップ大賞グランプリ」の決定。同時に、参加者評価を実施するとともに、堀田力氏(さわやか福祉財団理事長)による盾と賞状・賞金(目録)の贈呈式と、審査員による発表とコメント評。なお、審査集計の間、「第 2 回パートナーシップ大賞」受賞団体によるミニ講演を実施した。

●第 4 回「パートナーシップ大賞グランプリ」

企業ができることも達への環境学習支援事業(兵庫県)

NPO：(N)こども環境活動支援協会

企業：LEAF 企業プロジェクト(大栄サービス株式会社 他 31 社)

●参加者評価

自主参加として各自に参加者用の評価シートに記入してもらい回収。氏名・評価点を明記しているもので、かつ当事者以外のもののみを集計し、審査委員へ報告。この結果を参考に最終審査を行った。

- 参加者：130 名

⑦ミニ講演「第 2 回パートナーシップ大賞 その後～地域メディアフル活用！NPO の情報発信」

講師：大島誠氏 ((N)くびき野 NPO サポートセンター理事長、(株)上越タイムス社代表取締役)

⑧懇親パーティーの開催

「パートナーシップ大賞」受賞者や参加者による大交流会。受賞者や審査委員らによる事業や審査の裏話など貴重な体験交流ができた。

- 実施日：11 月 11 日(土)17：30～、名古屋国際センター 別棟ホールロビースペース
- 参加者：約 50 名

⑨協賛金募集

「パートナーシップ大賞」への企業協賛の募集

- 依頼文書送付等：8 月～10 月

◇協賛企業：三井住友海上火災保険(株)、三井住友海上スマイルハートクラブ、トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、(株)デンソーユニティサービス、アイシン精機(株)、シーキューブ(株)、(株)豊田自動織機、(株)アバンセコーポレーション

◇新規協賛企業：豊田通商(株)、(財)中部産業活性化センター(CIAC)

⑩事例報告集の出版

「企業と NPO のパートナーシップ CSR 報告書 100 社分析 ケーススタディ III」の出版。

- 同文館出版より 2006 年 6 月 20 日発行。
- 内容：第 1 部 基礎知識編 「CSR 報告書」(2005 年版)100 社分析
第 2 部 ケーススタディ編 「第 3 回パートナーシップ大賞」の入賞事例
第 3 部 資料編 データでみる第 3 回パートナーシップ大賞

2. コラボレーション事業

昨年実施の「県民ボランティア活動促進事業」「福祉のまちづくりリーダー養成事業」に加え、今年度新たに(財)中部産業活性化センターとの協働自主事業、文部科学省の「地域ボランティア活動推進事業」、愛知県「地域協働促進事業」の3つの事業を実施した。また、次年度につながる日本財団との協働についても協議を行った。

1) (財)中部産業活性化センター(CIAC)との協働事業

「NPO との協働による戦略的 CSR の実験的研究」をテーマに、CIAC と PSC のはじめての協働事業として、以下の3つの事業を実施した。

① CSR セミナー「企業と NPO の感動的な出会い」

「第1回パートナーシップ大賞」「第2回パートナーシップ大賞」の受賞者を北海道、新潟から招き、企業向けの NPO によるセミナーを開催した。

●実施日：9月29日(金)14:00～、名古屋栄ビル 12F 大会議室

●内容：◇ガイダンス「企業と NPO のパートナーシップ」：岸田真代(PSC 代表理事)

◇事例発表①：第1回パートナーシップ大賞グランプリ受賞

「アジアでの車いす普及の願いを集配トラックに載せて」

講師：吉田三千代氏(NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会 事務局長)

◇事例発表②：第2回パートナーシップ大賞グランプリ受賞

「競いあい、磨きあう協働は『紙面』という場で」

講師：大島誠氏(株)上越タイムス社代表取締役

●参加者：約80名

② CSR シンポジウム「企業とは何か?を問い直す」

CIAC が中心となって企業の CSR 担当者らを対象に、企業による CSR の取り組みに関するシンポジウムを開催し、PSC は記録等で協力した。

●実施日：11月16日(木)14:00～、今池ガスビル 9F「ガスホール」

●内容：◇基調講演「企業とは何か?を問い直す」

講師：谷本寛治氏(一橋大学大学院商学研究科教授)

◇パネルディスカッション「持続可能な企業と社会の関係」

パネリスト：各務正博氏(中部電力(株)常務取締役)、益田清氏(トヨタ自動車(株)理事・環境部長)、伊東正行氏(三菱東京 UFJ 銀行 CSR 推進室長)、岸本道弘氏(経済産業省産業政策局企画行動課企画官)

●参加者：約170名

③ 「協働アイデアコンテスト」と交流会

NPO と企業の協働をより広く進めていくために、NPO から企業に対する協働アイデアを募集し、コンテストを実施。優れた事業提案に対し、CIAC が助成金を提供し、さらに協働の実施により助成をプラスするというユニークなしくみの事業となった。

●協働アイデア募集

◇実施日：2006年11月11日(土)～2007年1月15日(木)

◇応募団体：13件、予選通過助成団体：5団体

●「協働アイデアコンテスト」

◇実施日：2月27日(火)15:00～19:00、名古屋栄ビル 12F 大会議室

◇内容：審査員と会場参加者で選考され、予選通過団体の中から各賞を決定。

◇審査員：小林宏之氏(中部電力㈱経営戦略本部 CSR 推進グループ長)、堀内勉氏(東邦ガス㈱企画部次長)、神原義治氏(愛知県県民生活部社会活動推進室主幹)、安井和史氏(CIAC 専務理事)、岸田眞代(PSC 代表理事)

●各賞及び最終プレゼンテーション団体と提案事業

	団体名	提案事業名
最優秀賞	(N)Work - Wach パートナーズ (わくわくパートナーズ)	“Wach Campus(わつくきゃんぱす)”協働運営事業 「知的障害者と一般社員が共に働き、共に学ぶ場」
優秀賞	名古屋大学大学院 環境学研究科 竹内研究室	コミュニティサイクル「名チャリ」
特別賞	夢育プロジェクト	夢育プロジェクト ～夢を創り、夢を育てる～
奨励賞	(N)ボラみみより情報局	ボランティア登録システムによるマッチング事業
	(N)ドリーム	名古屋駅前エレベータマップ

* なお、CIAC から最優秀賞には助成金 20 万円、優秀賞には 10 万円、特別賞には 5 万円、奨励賞には各 3 万円ずつが授与された。

●交流会

プレゼンテーション後、中会議室に場を移して交流会と結果発表・贈呈式が行なわれた。

●参加者：110 名

④ 報告書の作成と配布

上記 3 事業について報告書としてまとめ、CIAC に提出した。

- ・タイトル：「NPO との協働による戦略的 CSR の実験的研究」報告書
- ・報告書概要：CSR セミナー、CSR シンポジウム、協働アイデアコンテストのまとめ 等
- ・報告書体裁：A4 判 42 ページ

2) 「県民ボランティア活動促進事業」(愛知県委託事業)

昨年度に引き続き、愛知県からの委託を受け、場所を昨年のおアシス 21 からもちの木広場に移して実施。万博ボランティアの経験者、企業ボランティア、NPO 団体を中心に、6 月から実行委員会を開始。参加団体の募集、説明会等を開催した。周辺広域開催イベントとも協力。日曜日ということもあって、多くの市民が足をとめ参加した。

●事前準備等

◇県との打合せ：5 月 10 日(水)、6 月 28 日(水)

◇参加団体募集：6 月 1 日(木)～8 月 31 日(木)

◇ボランティア参加団体説明会：7 月 11 日(火)、7 月 31 日(月)、8 月 28 日(月)

◇実行委員会(計 9 回)：6 月 19 日(月)、7 月 4 日(火)、17 日(月)、31 日(月)、8 月 16 日(水)、28 日(月)、9 月 4 日(月)、11 日(月)、21 日(木)

●イベントタイトル：「2006 ボランティアふれ愛フェスティバル in もちの木広場」

◇実施日：9 月 24 日(日)10：00～18：00、久屋大通公園もちの木広場

●イベント内容

①基調講演「NPO とボランティア」

講師：山岸秀雄氏((N)NPO サポートセンター理事長)

②トークショー「人生とボランティア活動と NPO」

講師：三遊亭らん丈氏(落語家、町田市議、早大院生、ボランティア活動)

③ NPO の活動紹介

ブース出展した NPO を中心に、一団体 4 分程度の持ち時間で活動内容を紹介した。

(紹介 NPO 団体数 : 21 団体)

④ 愛知県内のブース出展

もちの木広場(2400 平米)に 51 のブースを設け、パネル展示や実演など、アイデアを凝らして紹介した。出展団体 : 51 団体(NPO : 44、企業 : 2、行政 : 5)

⑤ スタンプラリー

一般参加者に NPO の活動を知ってもらおうとスタンプラリーを実施。景品は各企業の協賛による。

* スタンプラリー景品協賛 : 中部電力(株)、(株)デンソー、豊田通商(株)、(株)新日本製鉄、(財)さわやか福祉財団

⑥ その他

オープニングセレモニー(参加団体によるプラカード入場)、主催者挨拶、太鼓演奏、ピエロによるバルーンアート、子どもによる HIPHOP、大人子どもの演舞、18 名のダンス、創作演舞、ベリーダンス、エンターテインメント、琉球伝統芸能、ポピュラー音楽演奏、器楽演奏、閉会式(フィナーレ)など。

●来場者 : 約 3600 名

3) 地域ボランティア活動推進事業(文部科学省)

「企業人から NPO 人へ」をテーマに、企業人やその OB に対してボランティア意識を高め、さまざまな体験をすると共に、NPO でもインターン体験を行った。

① 愛知ネットワークづくり委員会の開催

●実施日(全 5 回) : 8 月 7 日(月)、24 日(木)、9 月 7 日(木)、10 月 2 日(月)、12 月 18 日(月)

●委員(8 名) : 面高俊文氏((株)デンソーユニティサービス取締役社長)、安井和史氏(CIAC 専務理事)、岡部扶美子氏((N)パンドラの会代表理事)、滝川正子氏(なごや東山の森づくりの会代表)、栗田暢之氏((N)レスキューストックヤード代表理事)、渡辺一郎氏((株)東海理化総務部ボランティアセンター広報室長)、安藤明夫氏((N)子どもの虐待ネットワークあいち(CAPNA)理事)、岸田眞代(PSC 代表理事)

② 「インターンの受入れ心得講座」

企業人を NPO のボランティアとして受け入れる時の留意事項等について、参加者で課題や疑問を出し合った。

●第 1 回 : 「ここが重要 ! トラブル回避の受入れ基準」

◇実施日 : 10 月 5 日(木)、池下ピアザ

◇講師 : 岸田眞代(PSC 代表理事)

◇参加者 : NPO 10 団体

(N)アジア日本相互交流センター(ICAN)、(N)交通事故サポートプログラム、(N)NPO かわせみ、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、こころとまなびどっとこむ、(N)武豊文化創造協会、(財)アジア保健研修所(AHI)、(N)ボラみみより情報局、PSC

●第 2 回 : 「企業人のノウハウを活動で引き出すには」

◇実施日 : 10 月 14 日(土)、池下ピアザ

◇講師 : 岡部扶美子氏((N)パンドラの会代表理事)

◇参加者 : NPO 7 団体

ICAN、(N)交通事故サポートプログラム、(N)NPO かわせみ「かわせみ工房」、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、(N)こころとまなびどっとこむ、(N)パンドラの会、PSC

③ NPO ボランティア養成講座

企業の人たちを対象に、NPO とは何かという基礎講座と、NPO で働いた経験を持つ元企業人の体

懇談のあと、午後から NPO の活動紹介とマッチングを実施した。

●NPO 基礎研修

◇実施日：10月9日(月祝)、名古屋栄ビル 12F 中会議室

・第1講：「NPO って何だろう」

講師：岸田真代(PSC 代表理事)

・第2講：「“企業人”こんな人待ってます！」

講師：上島民雄氏((N)介護サービスさくら理事・事務局長)

●NPO による活動紹介&マッチング

◇参加者：企業人 退職者 26 名、NPO 11 団体

「企業人」：中部電力(株)、(株)デンソーユニティサービス、(株)シーテック、(株)興和工業所、豊田通商(株)他

「NPO」：(N)CAPNA、(N)なごや東山の森づくりの会、(N)武豊文化創造協会、(N)こころとまなびど
とこむ、(N)パンドラの会、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、(N)NPO かわせみ「か
わせみ工房」、(N)交通事故サポートプログラム、ICAN、(N)アジア車いす交流センター
(WAFCA)、PSC

④企業人によるボランティア活動①：「なごや東山の森をつくろう」

●(N)なごや東山の森づくりの会との連携。

●実施日および参加者：7月31日(月)20名、10月1日(日)10名、
11月5日(日)9名、12月3日(日)8名

⑤企業人によるボランティア活動②：「ウィルあいちの防災・バリアフリーチェック」

●(N)パンドラの会、(N)レスキューストックヤード、(N)蒲郡 NPO 市民クラブ等との連携。

◇実施日および参加者

「防災」：10月24日(火)24名、11月7日(火)21名

「バリアフリー」：10月25日(火)16名、11月8日(水)14名

⑥インターン体験

上記マッチングにもとづき、下記 NPO にて企業人たちがボランティア体験をした。

実施機関 (インターンシップ先)	インターン生	体験期間
(N)アジア車いす交流センター	2人	8日
(N)交通事故サポートプログラム	2人	5日
(N)NPO かわせみ「かわせみ工房」	3人	5日
メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	1人	4日
(N)パンドラの会	2人	10日
(N)こころとまなびどとこむ	2人	2日
(N)なごや東山の森づくりの会	3人	7日
(N)SKIP	2人	6日
(N)パートナーシップ・サポートセンター	2人	8日
	計 19人	計 55日

⑦報告書の作成と配布

- ・タイトル：「企業人から地域人へ」報告書
- ・報告書概要：NPO ボランティア養成講座、インターンシップのまとめ 等
- ・報告書体裁：A4 判 86 ページ

4) 「地域協働促進事業」(愛知県)

市町に対し愛知県からNPOが作成したカリキュラムを提示し、手を挙げた市町(全部で20カ所)に対して以下の職員研修を実施。PSCが提示した「“パートナーシップへの扉”研修」と「“市民参加の政策づくり”入門講座」の2つのカリキュラムは9市町(8カ所)で、中にはNPOも参加して実施した。NPOとの協働を模索する市町にとって、有意義な研修会となったとの高い評価をいただいた。

●県と実施3団体による打ち合わせ

実施日：7月26日(水)、11月2日(木)

●実施市町村と主な内容

実施市町	打ち合わせ日	実施日	研修内容	参加者
常滑市	8月2日(水)	9月15日(金)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	40名
豊川市	8月17日(木)	9月22日(金)	「協働のマスターキーをつかもう！ “パートナーシップへの扉”研修」	39名 (+NPO9名)
武豊町	8月28日(月)	10月6日(金)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	24名 (NPO含む)
吉良町・一色町	9月5日(火)	10月17日(火)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	36名
弥富市	9月4日(月)	10月26日(木)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	46名
津島市	9月4日(月)	11月7日(火)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	35名
尾張旭市	10月4日(月)	11月21日(火)	「“市民参加の政策づくり”入門講座」	30名
大府市	10月3日(火)	11月30日(木)	「協働のマスターキーをつかもう！ “パートナーシップへの扉”研修」	28名 (NPO含む)

●県・PSC・市町村担当者による合同意見交換会

◇実施日：12月25日(月)

◇参加者：11名(実施市町、PSC、愛知県)

5) 「福祉のまちづくりリーダー養成」(名古屋市社会福祉協議会委託事業)

①「フォローアップ事業」

平成18年度地域福祉型福祉事業開発助成制度事業の対象者となった団体が、安定した事業を継続して行なう事ができるよう、各団体が申請した事業に対する支援として、「学習会」「個別に事業運営の悩み等の相談」「情報提供」を実施した。PSCの講座からは4団体(最多)が助成金を得、そのステップアップのための研修と個別相談を実施した。

●実施日：2007年12月22日(金)「申請書の書き方」

◇講師：岸田真代(PSC代表理事)

◇受講者：7名

●個別相談：3月13日(火)「あいちオペナビ俱樂部」、3月27日(火)「瑞穂高齢者いきいき会」

3月29日(木)「(N)みなと子育ているかネット」

(4月18日(水)「(N)シニアライフサポート・フィオーレ」)

②「“ジャンプアップ”講座」

昨年に引き続き、「企業人」から「地域人」へ地域福祉事業のノウハウを学ぶリーディングモデル事業として実施した。

	講座内容	実施日	講師
1	オリエンテーション	1月20日(土)	岸田真代(PSC代表)
2	福祉の現場研修&事例研究	2月3日(土)	村居多美子氏(N)介護サービスさくら代表理事)
3	起業準備と事業プラン	2月17日(土)	田端哲夫氏(東海学園大学助教授・経営コンサルタント)
	事業プランのブラッシュアップ	2月23日(金)	田端哲夫氏、岸田真代

	講座内容	実施日	講師
4	事業計画プレゼンテーション	3月3日(土)	田端哲夫氏、岸田眞代

●受講者：16名(うち社協参加者6名)

③報告書の作成

- ・①フォローアップ事業：「福祉のまちづくりリーダー養成“フォローアップ”事業」(31 ページ)
- ・②ジャンプアップ講座：「福祉のまちづくりリーダー養成“ジャンプアップ”講座」(86 ページ)

6) 日本財団「CANPAN」との CSR 協働事業に関する協議

CANPAN が主催する CSR プラスについての協力要請があり、「パートナーシップ大賞」についても協力したいとの申し出を受け、協議を開始し、合意に至った。

- 10月13日より、日本財団「CANPAN」担当者らと協議。
- 11月11日、「第4回パートナーシップ大賞」にCANPAN 担当者が参加、視察。
- 2007年3月9日、CSR アワードとパートナーシップ大賞の協働等について最終合意。
日本財団「CANPAN」との共催にて、「第5回パートナーシップ大賞」を実施することとなった。

3. コーディネート事業

NPO と企業のコーディネートを中心に、昨年に引き続き地球環境市民大学の集いと講座、新規にフィランソロピー協会の要請による子育て支援セミナーへの協力、自主事業として新春交流会を開催した。また、なごや環境大学実行委員会事務局次長についてもコーディネート事業として実施した。

1) 地球環境市民大学

昨年度好評につき、引き続き地球環境再生保全機構の委託による「地球環境市民大学」を開催。2つの講座と、「企業との協働」をテーマにした中部地域の助成団体のプレゼンテーションを含むイベントを企画実施した。

- 主催：独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金
- 協力：環境パートナーシップ CLUB(EPOC)
- 企画・運営：PSC

①「環境保全協働コーディネーター養成講座」

昨年度の長野県に続き、今年度はNPO 法人地球の未来の協力を得て岐阜県で開催した。若い人を中心に活発な意見交換ができた。ただし、決定から実施までの期間が短く、集客に課題を残した。

- 実施日：10月21日(土)・22日(日)岐阜産業会館

◇ 1日目

- ・「企業、行政、NPO の協働概論 -協働のために何をすべきか-」
講師：岸田眞代(PSC 代表理事)
- ・「協働コーディネーターの4年間 -協働の事例とコーディネーターの役割-」
講師：駒宮博男氏((N)地球の未来理事長)
- ・ワークショップ「合意形成手法 -合意形成手法の習得-」
講師：駒宮博男氏((N)地球の未来理事長)

◇ 2日目

- ・「行政から見た企業・NPO との協働事例 -リスクコミュニケーション最前線-」
講師：渡辺 昇氏(岐阜県中濃地域振興局環境課長)

- ・「環境にやさしい水うちわ」の復活と地域再生 -ネットワークとパートナーシップの構築-
講師：蒲 勇介氏(オルガンハウス代表)
- ・ワークショップ「協働コーディネーターになるために-協働コーディネーターの実践手法-」
講師：岸田眞代(PSC 代表理事)

●参加者：18名

②「環境 NGO と市民の集い」

昨年の白鳥会場からウィルあいちに場所を移して実施。基調講演の後、中部環境 NGO16 団体の助成活動発表を 2 つの分科会に分けて実施し、その後、全体会で再度一堂に会するという方式を採用。また、終了後、懇親会を同会場で開き、NPO と企業参加者の活発な交流が生まれた。当日は、EPOC の企業ボランティア約 10 名の強力なサポートを得た。

●実施日：12 月 15 日(金)、ウィルあいち

◇基調講演「環境・CSR の推進力を高める NPO・市民の役割」

講師：岡本享二氏(元 IBM、ブレーメンコンサルティング代表)

◇中部 5 県環境 NGO 16 団体の活動報告：A と B にわかれて実施。

A：環境保全-伊勢・三河流域ネットワーク、NPO 地域づくり工房、(N)都市と農山村交流スローライフセンター、日本クマネットワーク、ウッドマイルズ研究会、定光寺ほたるの里の会、(N)みどりの市民、(N)市民フォーラム 21・NPO センター (進行：馬塚丈司氏(サンクチュアリ NPO)、片岡憲彦氏(中部電力株))

B：環境教育-あそあそ自然学校、(N)エコワークス、泰阜村自然体験活動推進協議会、(N)富士の国・学校ビオトープ、Kids'AU・子どもたちのアジア連合、(N)中部リサイクル運動市民の会、(N)モンゴル環境情報センター、PSC (進行：柴垣民雄氏(株リコー中部)、駒宮博男氏((N)NPO 地球の未来))

◇企業の協働事例発表：中部電力株、(株)リコー中部

◇全体意見交換会

コーディネーター：岸田眞代(PSC 代表理事)

コメンテーター：岡本享二氏(元 IBM、ブレーメンコンサルティング代表)

馬塚丈司氏(サンクチュアリ NPO)、片岡憲彦氏(中部電力株)

柴垣民雄氏(株リコー中部)、駒宮博男氏((N)NPO 地球の未来)

●参加者：120 名(交流会：約 40 名)

③「環境 NGO/NPO のためのマネジメント講座」

昨年のコーディネーター養成講座に続き、長野県でのマネジメント講座を実施。場所は上田市の長野大学。NPO 地域づくり工房の協力を得て、環境活動事例を参考にしながら、ワークショップというコミュニケーション手法による学びあい、実践的な研修を行った。

●実施日：1 月 27 日(土)・28 日(日)、長野大学(長野県上田市)にて

◇ 1 日目

- ・「環境問題における NGO の運営と役割」

講師：佐藤 哲氏(長野大学教授・元 WWF ジャパン自然保護室長)

- ・「プロジェクトの立案と管理」

講師：傘木宏夫氏(NPO 地域づくり工房代表)

◇ 2 日目

- ・「団体の運営と資金調達」

講師：傘木宏夫氏(NPO 地域づくり工房代表)

- ・「リーダーシップとリーダーチェック」

講師：岸田眞代(PSC 代表理事)

●参加者：18 名

2) なごや環境大学

①「市民講座情報コーナー」の窓口業務

環境大学実行委員会の状況変化により窓口業務は9月30日で満了。

②実行委員会事務局(次長)コーディネート(業務委託)

2006年4月1日から実施。なごや環境大学事務局の中心メンバーとしてその後活躍中。

3) (社)日本フィランソロピー協会との協働事業

東京の(社)日本フィランソロピー協会からの協力依頼により、「企業と NPO の子育て支援協働推進セミナー」の集客及び当日運営を行うとともに、第3部会「子どもの健全育成 -社会貢献プログラムを考える」のコーディネーターを岸田眞代(PSC 代表理事)が担当。トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、(N)こども NPO によるパネルディスカッションを開催した。

●実施日：12月7日(木)、ウィルあいち

●参加者：約150名

4) 新春交流会

新春合宿での理事会での提案に基づき、新年の PSC 恒例事業として定着させるべく、企業各社の CSR(社会貢献)の方針、抱負を PSC 会員に紹介し、会員相互(企業・NPO・個人会員)の交流を図った。

●実施日：1月29日(月)18:00~20:00、池下ピアザ

◇CSR 報告企業：トヨタ自動車(株)(相羽博文氏)、中部電力(株)(小林宏之氏)、(株)デンソー(小山剛史氏)、(株)日立製作所グループ(古畑透氏)、(株)アバンセコーポレーション(林隆春氏)、(財)中部産業活性化センター(安井和史氏)

●参加者：上記以外の参加者として、

◇企業：(株)デンソーユニティサービス、(株)ベネッセコーポレーション

◇NPO：(N)交通事故サポートプログラム、(N)ボラみみより情報局、(N)こころとまなびどっとこむ、(N)介護サービスさくら、(N)ホロス健康センター、(N)ウェザーフロンティア東海、(N)あいち骨髄バンクを支援する会、(N)トルシーダー、IT ネットなごや、(N)NPO かわせみ「かわせみ工房」

◇その他 個人会員：6名

計30名(なお、交流会終了後の懇親会には約半数が参加)

5) その他コーディネート

その他、企業の不要になった椅子(三井住友海上)や中古パソコン(デンソー)等の提供を NPO に紹介・仲介を行ったり、愛知県からのコミュニティビジネスモデル事業者の推薦要請を受けて「パンドラの会」を紹介し認定を受けるなどの各種コーディネートを行った。

4. コンサルティング事業

コンサルティング事業については継続事業を中心に、企業向け CSR 相談事業を実施した。

1) 三井住友海上火災「NPO 喫茶カフェアイリス」支援

1999年3月から始まった三井住友海上名古屋ビル1階のNPO 喫茶「カフェアイリス」は8年目を迎え、(N)スペース21による運営が続いている。月1回の定例運営会議は、三者でさまざまな課題について、検討しながら進めている。

- 運営会議出席：4月25日(火)、6月26日(月)、8月25日(金)、9月25日(月)、10月25日(水)、
2007年2月23日(金)、3月27日(火)

2) 相談事業&コンサルティング

NPO 立ち上げや組織運営支援、NPO と企業の協働支援、企業が取り組む CSR についての NPO の立場からのコンサルティング、及びステークホルダー会議等の実施や提言等を行った。

- 東邦ガス(株) 環境・社会懇談会(環境・社会報告書第三者レビュー)：6月23日(金)
- 豊田通商(株)：7月5日(水) 講演「CSR活動を本物にするために」
- (株)日立製作所：
 - ・9月6日(水) 「NPO と CSR」：PSC、「防災」：(N)レスキューストックヤード
 - ・11月7日(火) 「NPO と CSR」：PSC、「防災」：(N)愛知ネット
- (株)ベネッセコーポレーション：子育て支援の相談
- 中部電力(株)(ステークホルダー・ダイアログ)：3月6日(火)
- NPO 設立支援・相談：「NPO 起業・就労科」卒業生、「福祉のまちづくりリーダー養成講座」受講者・卒業生等による NPO 立ち上げ・組織運営に関する相談等多数
- その他、企業

3) なごや循環型社会・しみん提案会議

名古屋市のごみ行政(第4次総合計画)に対する提案を行うためのステークホルダー会議と市民会議のファシリテーターとして以下の会議に関わった。

- ・7月13日(木)：準備会(第4回)
- ・8月29日(火)：実行委員会(第2回)
- ・9月23日(土)：ステークホルダー会議(第1回)
- ・10月7日(土)：ステークホルダー会議(第2回)
- ・11月13日(月)：ステークホルダー会議(打合せ)
- ・11月18日(土)：ステークホルダー会議(第3回)
- ・12月3日(日)：ステークホルダー会議(第4回)
- ・1月13日(土)：ステークホルダー会議(第5回)
- ・2月24日(土)：市民会議
- ・3月10日(土)：市民会議
- ・3月31日(土)：市民会議
- ・(4月15日(日)：市民&ステークホルダー合同会議)

5. 教育啓発事業

1) 失業者向け委託訓練

2002年以來実施している失業者向け訓練を実施。応募者は定員を超えるようになった。

- 「NPO 起業・就労科」(愛知県)・・・池下ピアザを使っての講座
 - ◇説明会：5月22日(月)、25日(木)、29日(月)、6月1日(木)
 - ◇入所選考・・・6月16日(金)
 - ◇7月5日(水)～9月28日(木)、57日間(345時間)で実施
 - ◇講座内容：NPO の基礎知識、NPO 法について、様々な NPO の紹介、NPO の会計・税務・労務、各種報告書の作成、事業計画の作成、パソコン研修、NPO へのインターン実習 他
 - ◇受講生：20名(中途就職1名、退講1名)
 - ◇修了者：18名

- ◇インターンシップ先：(N)さわやか愛知、(N)介護サービスさくら、(N)交通事故サポートプログラム、
(N)あいち骨髄バンクを支援する会、PSC 他
- ◇NPO 立ち上げ：(N)10 人村、(N)いちりんの会
- ◇就職率：52.6%

2) 生涯学習分野における NPO 支援事業

文部科学省 3 年目の委託事業で、昨年度大変満足度の高かった「NPO シニア大学」の内容をさらに充実させ、各企業や行政内でも継続して行なえるようしくみづくりを検討。「ニューライフ NPO セミナー」を、(株)デンソーなどの協力を得ながら、モデル事業として企業人の社会参加の開発プログラムを作成し、実施した。

①「あいち生涯学習 NPO 委員会」の実施

委員会のテーマは、「企業」から「NPO」への人の流れをつくるための仕組みづくりの検討、及び企業での講座開催の実施についての検討および実施結果の検討。

- 委員(10 名)：牧野篤氏(名古屋大学大学院教育学部教授、委員長)、岩原明彦氏(デンソー(株)経営企画部 CSR 推進室長、副委員長)、柴山忠範氏(愛知県経営者協会専務理事)、塚本隆氏(ブラザー健保組合本部事務長)、林敬子氏(生涯学習アドバイザー)、福谷芳浩氏(元オムロン(株)理事監査室長)、水野初代氏(愛知県社協地域福祉部長)、山田均氏(愛知県教育委員会生涯学習課主幹)、吉武賢慧氏(日本福祉大学キャリア開発部顧問)、岸田眞代(PSC 代表理事)

- 開催日および参加者：9 月 11 日(月)10 名、10 月 11 日(水)8 名、11 月 15 日(水)9 名、
1 月 25 日(木)8 名、3 月 1 日(木)9 名

②「ニューライフ NPO セミナー」の実施

デンソー社員を中心に、社会貢献と企業人の活躍の両面から NPO やボランティアについて学び、ニューライフ(新しい人生)づくりに役立ててもらうことを目的とした。

	実施日	講座内容および講師	参加者
1	2 月 1 日(木)	これまでの社会と自分 ～NPO とは? NPO への理解を深める～ 1 講「花も実もある人生を」講師：牧野 篤氏(名古屋大学大学院教育学部教授) 2 講「NPO の基礎講座」講師：岸田眞代(PSC 代表理事)	35 名 (社員 19 名)
2	2 月 8 日(木)	NPO で活躍している先輩からの助言 3 講「ボランティアを志す人へ」 講師：上島民雄氏((N)介護サービスさくら理事・事務局長) 4 講「仲間づくり」講師：岸田眞代(PSC 代表理事)	22 名 (社員 18 名)
3	2 月 10 日(土)	NPO を見る<バスツアー> ～NPO の現場を見に行こう～ (N)武豊文化創造協会、はっぴいわん&はっぴいひろば、 大野コミュニティきょう屋、(N)さわやか愛知	16 名 (社員 15 名)
4	2 月 15 日(木)	NPO をもっと知る ～NPO の現場からの声をもっと聞こう～ 5 講「NPO 活動プレゼン」、6 講「ワークショップと意見交換」 ファシリテーター：岸田眞代(PSC 代表理事)	24 名 (社員 18 名)
5	2 月 22 日(木)	NPO で活動する～会社から地域に踏み出すために専門家からアドバイス～ 7 講「自分なら何ができるか、したいのか」、8 講「まとめ」 ファシリテーター：岸田眞代(PSC 代表理事)	16 名 (社員 12 名)

※ 実施場所：刈谷市産業振興センター会議室

③「NPO プレゼンテーション資料作成個別指導」

「ニューライフ NPO セミナー」にて活動紹介する NPO 団体に対し、活動紹介のためのパワーポイント資料作成指導を次のように開催した。

- 実施日：1月17日(水)池下ピアザ
- 参加者：3名

④報告書およびリーフレットの作成と配布

- ・タイトル：「生涯学習分野における NPO 支援事業」
 - ・報告書概要：ニューライフ NPO セミナー、あいち生涯学習 NPO 委員会事業報告 等
 - ・報告書体裁：A4判 77 ページ
- ・タイトル：「「企業人」から「地域人」へ「ニューライフ NPO セミナー」ご案内」
 - ・リーフレット概要：ニューライフ NPO セミナー・カリキュラム例 等
 - ・リーフレット体裁：A4判 4 ページ

3) デンソーユニティサービス「ビジネスマインド研修」

6年目の「ビジネスマナー&マインド」研修の実施。各回20名ずつ、男性を中心に実施。

- 実施日：7月11日(火)、9月12日(火)、10月12日(木)、11月14日(火)
- 各回 10:00~17:00

- 内容：仕事の進め方、ビジネスマナーの基本、来客応対、訪問・面談時の心がけ、電話応対 他
- 講師：岸田真代(PSC 代表理事)
- 参加者：各20名

4) その他講師派遣

	日程	テーマ	主催(派遣先)
1	6月25日(日)	審査員「赤い羽根共同募金一般公募助成」	千種区社会福祉協議会
2	6月27日(火)	講演「NPO との協働で CSR の推進を！」	(財)中部産業活性化センター
3	7月8日(日)	ワークショップ「カーフリーなごやガイド」	なごや環境大学
4	8月19日(火) ～ 20日(水)	合宿フィールドワーク講師「長浜から学んだこと」 「地域プロデューサーはインタビュー名人」	淡海ネットワークセンター 滋賀県未来塾(第8期生合宿)
5	11月6日(月)	講演「企業人」から「地域人」として生きるために」	愛知県労協「役員研修会」
6	11月22日(水)	講座「NPO と企業の協働 -CSR、NPO との協働事例から-」	神奈川県コミュニティカレッジ
7	2月9日(金)	「託児研修」	ウィルあいち
8	2月10日(土)	講演「企業と NPO の協働 -CSR 推進を NPO と共に-」	岐阜県大垣市環境市民会議
9	2月18日(日)	講演「NPO と企業の協働 -新しい社会貢献の形が見えてくる!-」	小牧市市民活動センター
10	3月4日(日)	講演「NPO と企業の連携・その心得と実践」	蒲郡市
11	3月8日(木)	講演「NPO と企業-パートナーシップへの挑戦」	神奈川県相模原市
12	3月15日(木)	「企業と NPO の対話のタベ」 講演「企業と NPO の連携・協働 -PSC の活動を通して-」	淡海ネットワークセンター
13	3月23日(金)	講演「地域貢献における企業の役割 -CSR とは-」	埼玉県熊谷市青年会議所
14	3月29日(木)	講演「企業と NPO の協働-CSR 推進のために-」	大阪コミュニティ財団

6. 調査研究事業

昨年度「パートナーシップ大賞」の事例集出版に併せて調査した「CSR 報告書」等の分析について、今年度は地球環境基金の助成事業として、企業の環境と CSR に関する取り組みを中心に分析した。また、(財)長寿社会開発センター助成事業は3年目の事業で、一昨年度の NPO 調査、昨年度の企業調査に続いて今年度は両者を結ぶ「インターンシップ」の仕組みについて研究した。

1) 地球環境基金助成事業「企業の環境活動等への取り組みに関する調査・分析」

昨年度の「CSR 報告書 100 社分析」に引き続き、環境報告書等を含めた企業の取り組みについて、企業へのヒアリング、意見交換会など、特に環境課題に力を入れて分析した。

①企業ヒアリング：12月25日(月)・(株)ブラザー、2月2日(金)・中部電力(株)、2月6日(火)トヨタ自動車(株)、2月9日(金)・(株)デンソー、2月16日(金)・(株)オムロン

②「環境 NGO と市民の集い」にて中間報告：12月15日(金)：参加約 50 名(ウィルあいち第 5 会議室)

③企業と NPO の意見交換会：1月29日(月)池下ピアザ

●参加企業：トヨタ自動車(株)、中部電力(株)、(株)デンソー、(株)日立製作所、(株)アバンセコーポレーション、(財)中部産業活性化センター(CIAC)、(株)デンソーユニティサービス、(株)ベネッセコーポレーション

●参加 NPO：(N)交通事故サポートプログラム、(N)ボラみみより情報局、(N)こころとまなびどっとこむ、(N)介護サービスさくら、(N)ホロス健康センター、(N)ウェザーフロンティア東海、(N)あいち骨髄バンクを支援する会

④報告書の作成と配布

- ・タイトル：「企業の環境活動等への取り組みに関する調査・分析」
- ・報告書概要：調査概要、企業 100 社の CSR 報告書分析、企業取材、意見交換会のまとめ 等
- ・報告書体裁：A4 判 47 ページ(環境編)、17 ページ(社会編)

2) 長寿社会開発センター助成事業(3年目)

「インターンシップ仕組みづくり検討委員会」を設置し、おそらく全国でもはじめてであろう「企業から NPO へ」のインターンシップを進めるための手引書づくりに取り組んだ。

①合同説明会

●実施日：10月19日(木)

●参加者：企業 5 社、NPO 9 団体

◇企業 5 社：東海労働金庫(増田英次氏)、INAX(株)(多田章氏)、(株)デンソー(大須賀恵子氏)、中部電力(株)(鈴木則之氏)、(株)日立製作所(古畑透氏)

◇NPO 9 団体：(N)中部リサイクル運動市民の会(和喜田恵介氏)、(N)ボラみみより情報局(角谷文子氏)、(N)パンドラの会(岡部扶美子)、(N)ホロス健康センター(新田良治氏)、(N)シニアキャリアセンター中部(松岡大造氏)、(N)交通事故サポートプログラム(大下申利子氏)、(N)こころとまなびどっとこむ(岩田淳氏)、名古屋コダーイセンター(牧村郁子氏)、(N)SKIP(河内かをる氏)

②「インターンシップ仕組みづくり検討委員会」

●実施日(計 6 回)：10月19日(木)、11月9日(木)、11月28日(火)、12月19日(火)、1月18日(木)、2月6日(火)

●委員：岩原明彦委員長(デンソー(株)経営企画部 CSR 推進室長)、兼田智彦氏((N)CAPNA 専務理事)、小林宏之氏(中部電力(株)経営戦略本部 CSR 推進グループ長)、度会章二氏(日本労働組合総連合会愛知連合会事務局長)、木村敏正氏((社)中小企業診断協会愛知県支部副支部長)、川上里美氏((N)さわやか愛知理事長)、村山佳江氏(名古屋 NGO センター事務局次長)、吉田雅史氏(株)

日立製作所中部支社総務部長)、原田敏之氏((N)穂の国森づくりの会理事)、加藤元彦氏(企業OB人材マッチング愛知協議会コーディネーター)、岸田真代(PSC 代表理事)

③報告書の作成と配布

- ・タイトル:「企業から NPO へ」インターンシップの手引き
- ・報告書概要: インターンシップについて、インターンシップの進め方、帳票等
- ・報告書体裁: A4 判 37 ページ

7. 情報受発信事業

「PSC Report」が、今年度 50 号を迎えた。設立以来、欠かすことなく 2 ヶ月に 1 度の会報として、会員及び関係者に郵送しており、52 号まで数えるに至った。また、ホームページも大幅にリニューアルし、明るいイメージに変身した。報告書等は今年度例年に比べ数多く発行した。

1) 「PSC Report」(奇数月 1 日発行)

Vol	発行日	内容
47	2006 年 5 月 1 日	「NPO と企業の社会的責任」出版決定!、PSC 定時総会のお知らせ、報告書ができました、「なごや環境大学」総会開催~PSC から事務局次長を派遣 他
48	7 月 1 日	ご応募ください!「第 4 回パートナーシップ大賞」、熱気に包まれ CSR 講演会開催、新しい本が出版!「企業と NPO のパートナーシップ」他
49	9 月 1 日	「市民参加の政策づくり」入門講座&「パートナーシップへの扉」研修、第 7 期も順調! 2006 年度「NPO 企業・就労科」講座 他
50	11 月 1 日	2006「ボランティアふれ愛フェスティバル in もちの木広場」、環境コーディネーター講座、CIAC&PSC 初の協働事業「CSR セミナー」を開催 他
51	2007 年 1 月 1 日	「第 4 回パートナーシップ大賞」発表・贈呈式盛大に!、各賞受賞事業紹介、「環境 NGO と市民の集い」を開催、「CSR シンポジウム」を開催 他
52	3 月 1 日	2007PSC 会員新春交流会、CSR 推進のための「企業&NPO 協働アイデアコンテスト」最終審査会&表彰式 他

2) PSC ホームページの段階的リニューアル

年末より年度末に光通信・光回線への移行、サーバーの一括移行に伴い、整備を行った。同時に HP も刷新した。

3) ポスター・各種報告書・リーフレット等の発行

- ・「NPO との協働による戦略的 CSR の実験的研究」(報告書)
- ・「企業人から地域人へ」(報告書)
- ・「福祉のまちづくりリーダー養成“ジャンプアップ”講座」(報告書)
- ・「福祉のまちづくりリーダー養成“フォローアップ”事業」(報告書)
- ・「生涯学習分野における NPO 支援事業」(報告書)
- ・「企業人」から「地域人」へ「ニューライフ NPO セミナー」ご案内(リーフレット)
- ・「第 4 回パートナーシップ大賞」(募集ポスター)
- ・「県民ボランティア活動促進事業」(ポスター)
- ・「企業と NPO のパートナーシップ CSR 報告書 100 社分析ケーススタディⅢ」(事例報告集)
- ・「企業の環境活動等への取り組みに関する調査・分析」(報告書)

- ・「企業から NPO へ」インターンシップの手引き(報告書)

8. 提言活動その他

今年度、ウィルあいちの指定管理者の一員として、主として企画面で関わる予定であったが、初年度ということもあり管理中心でほとんど出番がなく、次年度に持ち越しとなった。また、(財)東北産業活性化センターでの CSR 調査の委員として日立総研から推薦を受け関わったほか、行政各種委員、他団体との連携等を行った。

1) 行政各種委員としての提言活動

- ・なごや環境大学実行委員
- ・淡海ネットワークセンター「未来塾」運営委員
- ・名古屋市公共事業評価監視委員
- ・名古屋市交通問題調査会委員
- ・名古屋市緑化基金委員
- ・千種区社会福祉協議会「赤い羽根共同募金配分金一般公募助成」審査員
- ・全国ボランティアフェスティバル実行委員
- ・神奈川県「NPO 等と企業との協働推進に関する検討委員会」アドバイザー
(2006年10月31日～2008年3月31日)

2) 「ウィルあいち」(指定管理者の一員として)

- ・4月17日(月)：レストラン「ウィル」お披露目懇親会。後期からソフト面での協力を中心に参加。
- ・8月2日(水)：(株)コングレと2者協議(託児ボランティア研修、熟年式等)
- ・10月27日(金)：(株)コングレと2者協議(事業計画について)
- ・12月7日(木)：(株)コングレに事業計画案の提出(CSR研究会、熟年式等)
- ・2月1日(木)：愛知県と指定管理者による定例会議(PSCは初参加)
「“企業人”から“地域人”へ」チャレンジ事業の提案(コングレ・愛知グループとして)
- ・2月9日(金)：「託児ボランティア研修」
- ・2月28日(水)：愛知県と指定管理者による会議(次年度事業計画について県と協議)

3) (財)東北産業活性化センター

「東北地域の製造業における CSR に関する調査」の委員として、「東北地域の機械工業を中心とした製造業の CSR のあり方」と「取り組む支援策・促進策」の提言を行った。

- ・第1回：6月30日(金)仙台にて調査委員会
- ・第2回：10月10日(火)仙台にて調査委員会
- ・第3回：12月11日(月)～12日(火)滋賀県彦根市及び刈谷市の企業等へ視察
- ・第4回：3月5日(月)仙台にて調査委員会

4) 各団体との連携

①(財)中部産業活性化センター(CIAC)

- ・6月1日(木)「CIAC 調査事業報告会」参加
- ・6月27日(火)講演「NPO との協働による CSR 推進を！」(岸田眞代 PSC 代表理事)
- ・3月28日(水)講演会参加

②日本 NPO 学会(理事)(岸田が現在学会理事)

- ・6月3日(土)理事会
- ・6月3日(土)～4日(日)「第8回年次大会」(新潟)
 - ※ ワークショップ「CSR(企業の社会的責任)にNPOはどうかかわるべきか～NPOによるCSR報告書分析を踏まえて～」を企画運営。
- ・3月17日(土)～18日(日) : 「第9回全国会議」
 - ※ パネル「団塊の世代」のモデレーター担当
- ③なごや東山の森づくりの会(運営委員) : 5月27日(土)「総会」参加
- ④日本NPOセンター : 6月2日(金)「総会」参加、
11月23日(木)～24日(金)「市民セクター全国会議&10周年記念」参加
- ⑤あいち子どもNPOセンター(理事) : 9月17日(日)
- ⑥エコプラットフォーム東海 : 5月27日(土)「総会」他
- ⑦NPOサポートセンター全国会議(東京) : 2月16日(金)～17日(土)
- ⑧愛知県主催意見交換会「企業のCSR推進に、NPOと行政がどう協働できるのか」 : 1月17日(土)

Ⅱ.センターの運営に関する活動

(1) 2006 年度 定時総会

●実施日：6月17日(土)13:30～、三井住友海上名古屋ビル2階 大会議室

●内容

◇定時総会：2005年度事業および収支決算、2006年度事業計画(案)および収支予算(案)について審議。

<正会員総数：179名、出席者：102名(うち委任状54名)>

◇CSR講演会：定時総会時に合わせ、講演会を実施。64名の参加。

①「CSR報告書100社分析を終えて」

講師：面高俊文氏 (PSC 監事/P賞&CSR委員会/株デンソーユニティサービス取締役社長)

②「デンソーグループのCSR活動 ～社会からの信頼と共感をめざして」

講師：岩原明彦氏 (PSC 理事/株デンソー経営企画部 CSR推進室長)

◇懇親会：CSR講演会終了後、「飯島屋」にて会食。34名の参加。

(2) 理事会

回数	開催日	議題	開催場所
第1回	6月17日(土)	2005年度事業報告及び決算報告 2006年度事業及び予算案の最終チェック 他	三井住友海上名古屋ビル 会議室
第2回	7月24日(月)	2006年度事業計画中間(進行)報告 組織体制、プロジェクト委員会について 他	池下ピアザ
第3回	10月30日(月)	2006年度事業中間報告 2006年度収支決算中間報告	池下ピアザ
第4回	1月6日(土) ～7日(日)	拡大理事会を含めた新春合宿。 理事・プロジェクト委員によるPSCの活動の検証 及び新年度の展望について協議。 6日18:00より2006年度の事業報告。その後居 室にて懇談。7日9:00～15:00「第4回拡大理事 会」「2007年度事業計画」等協議。	ウィルあいち
第5回	3月26日(月)	2006年度事業状況に関する報告 2006年度収支決算状況に関する報告	池下ピアザ

(3) プロジェクト委員会

毎月第2金曜日を基本に、「池下ピアザ」にて開催。各自の係わる事業を明確にするため、昨年度までの企画運営委員会に代わり、事業ごとのプロジェクト委員会として実施した。

- ・ 8月11日(金)：プロジェクト全体会議
- ・ 9月8日(金)：Ⅰ協働テーブルプロジェクト、Ⅲ組織プロジェクト
- ・ 10月20日(金)：ⅡCSRプロジェクト、Ⅳ自主事業プロジェクト
- ・ 11月17日(金)：Ⅰ協働テーブルプロジェクト、Ⅲ組織プロジェクト
- ・ 12月11日(月)：プロジェクト全体会議
- ・ 2月9日(金)：ⅡCSRプロジェクト、Ⅳ自主事業プロジェクト

(4) PSCシニアボランティア会議

3年目となる(財)長寿社会開発センター助成事業を、PSCシニアボランティアのメンバーが中心になってインターンシップの手引き書の作成・編集に取り組んだ。(月1回の定例会)

- 実施日：4月27日(木)、5月18日(木)、6月22日(木)、7月20日(木)、8月28日(月)、9月28日(木)、10月19日(木)、11月21日(火)、12月8日(金)、1月11日(木)、1月26日(金)、2月20日(火)、3月7日(水)、池下ピアザにて実施。
- 参加者：高下太郎氏、吉武賢慧氏、中野道宏氏、福谷芳浩氏、加藤明亜氏、日比野勝氏、加藤元彦氏
事務局：PSC

(5) 事務局会議

事務局を中心とした事務連絡会議の開催。第1・3月曜、11:00～
随時、朝礼やミーティングを実施。

(6) 年次報告書発行

前年度(2006年度)の事業報告の他、主な活動の紹介、事業別・時系列別活動一覧、掲載された新聞記事などをまとめ、例年通り年次報告書として発行し、会員に配布した。